

大館の歴史散歩

泉

(8)

花岡城跡の湧水



交通・秋北バス大館工業高校前
徒歩1分

近年、各地で中世城館跡を中心とする遺跡の発掘調査が行われ、謎の多い中世の生活の様子が次第に解明されつつある。そこで、井戸跡の発見も数多く、飲料水に関する研究は飛躍的に進展した。また、水に関するもう一つの重要な問題である開発開墾とともに

なう田水の引水、堰堤築造などの勧農権の研究も進展している。

これまで大館地方の中世遺跡の発掘調査では、明瞭な井戸遺構は発見されていない。遺跡の付近に飲料に適した水を得易い湧水・流水が存在することと関わっているのかも知れない。技術的な問題とともに、今後の調査研究によつて明らかになるであろう。

花岡城は、現在の大館工業高校を中心とする神山台地一帯がそれがあり、大館工業高校正門向いの阿部商店さんの裏崖下に、シラス層にしみ込んだ水を集める湧水があつて、阿部商店さんで管理保護している。場所は花岡城の北堀の南側斜面中段にあたる。



(市役所 史跡探訪会)

堀中段にあることから、築城時の空堀造成の際には発見されていたと考えられ、しかも、空堀の南側斜面すなわち内郭側に位置していることからも、花岡城とは関係の強い湧水であると考えられる。なお、北堀の西側はグラウンド造成の際に埋め立てられたが、南北堀は大館工業高校南側に良好な状態で現存している。

図書館コーナー

~新着図書~

「死角——巨大事故の現場」

(柳田邦男著・新潮社)

日航ジャンボ機墜落などの巨大事故をさまざまな角度から分析し、その本質に迫る一冊。

事故は、人間を含めた巨大な技術システムに潜む「死角」に起因すると指摘し、安全への手掛かりを探る。

〈一般書〉

- ◇ アジア一九四五年(中村平治他編) ◇ 薔薇の寝床(高井有一著) ◇ 見えない死(中島みち著)
- ◇ 亂読すれば良書に当たる(百目鬼恭三郎著)
- ◇ 劇場の迷子(戸板康二著) ◇ 第十の男(G・グリーン著) ◇ 不思議の国イタリア(堀新助著)
- ◇ 二人だけの勲章(北方謙三著) ◇ 気分はリバイバル(村松友視著) ◇ ささやく河(藤沢周平著) ◇ 太陽の便り鼻から昇る(青野聰著) ◇ 義経埋宝伝説殺人事件(荒巻義雄著) ◇ 怒りの子(高橋たか子著) ◇ 月山抄(森敷著) ◇ 遊びをせんとや(田中澄江著) ◇ バックミラー人間模様(福井正道著) ◇ 流砂の世紀に(石原慎太郎著)
- ◇ ザ・シリアル(M・プーヴォ著) ほか

〈児童書〉

- ♣ 悪役の少年時代(内田朝雄著) ♣ ブラックウッド館の謎(C・キーン作) ♣ トンボになりたかった少年(東昭著) ♣ 風の音をきかせてよ(泉啓子作) ♣ だいちゃんコックさん(やまもとまつこ文・絵) ♣ A B C のおかいもの(ローベル夫妻文・絵) ほか

〈中央図書館休館日〉 11月17日、23日、28日

12月15日、26日、12月28日～1月4日

め保険者となり国民年金の保険料を納めなければいけません。

また、サラリーマンの妻であり、自分自身もサラリーウーマンの方は第2号被保険者です。

これらの人たち、家事に専念されている方は第3号被保険者とされ、保険料の個別の納付はいくなくなります。

▲厚生年金保険の被保険者の配偶者(サラリーマンの妻)であつて、20歳以上60歳未満の人は、新しい国民年金制度の下では、すべて強制加入することになります。

これらの人たち、家事に専念されている方は第3号被保険者とされ、保険料の個別の納付はいくなくなります。

夫が厚生年金加入、妻は家事に専念



年金 Q & A その1

市民の声

馬喰町通りの駐車は……

先にこのコーナーで、大町商店街の自転車通行についての投書があったようだが、私は、馬喰町通りの駐車問題に疑問を持っている。

車で馬喰町を通行する際、よく各商店の前に車が駐車されている。また、国道103号線の大町通りに比べて青信号が短かく、なかなか通行できないのが現実である。こうしたことを警察ではどう考えているのだろうか。我々がほかの道路で短かい時間、路上駐車をすると容赦なく反則金を取られるが、馬喰町通りの駐車は特別なのだろうか。

この解決策として、馬喰町と中町通りを一方通行とすることと、タクシー乗ればを別のところにもうけたらいかがだろうか。このことにより、交通渋滞の解消につながると思うが。

(一市民)